

実施日	視察先	視察項目	備考
7月3日	神奈川県 綾瀬市	海上自衛隊厚木基地 基地の概要	

視察先	項目	調査内容
厚木航空基地	基地の概要	<p>厚木航空基地は、綾瀬市、大和市及び海老名市の3市にまたがって所在している。三沢基地(青森県)、岩国基地(山口県)とともに、日米共同使用基地3箇所のうちの一つである。厚木基地では、飛行場としての主要な機能である滑走路維持管理や航空管制業務は、海上自衛隊側が管理している。</p> <p>厚木航空基地には海上自衛隊航空集団の司令部、第4航空群のほか、第51航空隊等の部隊が置かれており、海上自衛隊の重要機能が集中している。また離島の硫黄島・南鳥島にも航空基地隊を擁している。</p> <p>厚木基地は、下総基地同様の海上自衛隊の教育施設としての機能だけでなく、実際の警戒・防衛・災害派遣等の活動に当たっている。</p> <p>厚木基地に対する騒音等の苦情件数は、23年度160件、24年度347件と下総基地に比べて多いが、相当部分は米軍機に対する苦情であり、また基地が住宅地に近接していることによるものと考えられる。</p> <p>また現在下総航空基地にも配備されている固定翼哨戒機P-3Cに代わり、新たに順次配備されている新型固定翼哨戒機P-1について説明を受け、実機を視察した。P-3Cは耐用年数を相当経過してきていることに加え、特に東アジア地域における不安定な情勢下における各種事態への対応面で、能力が不</p>

		<p>十分であり，より高性能な機体の導入が不可欠とのこと。P-1はP-3Cと比較して優れた画像伝送・情報通信能力を有し，レーダーなどの目標識別・搜索能力や機動力も大幅に向上している。飛行速度が向上したほか，飛行高度はP-3Cの約1.3倍となった。さらに大容量コンピューターを搭載しての情報処理能力，また有事の際の攻撃能力も格段に向上している。</p> <p>さらに静粛性の面でも大幅に改良しているとの説明であり，実際にP-1の実機が基地上空を飛行していたが，騒音の大きさは感じられなかった。P-1はエンジンを含めて初めての純日本製の機体であり，日本の技術レベル向上の証であるとのことであった。</p> <p>なおP-1のエンジントラブルが先日報道されていたが，これは製造している川崎重工が防衛省への納入前に検査をしている段階で不具合が発生したものであり，自衛隊では通常行わないような高速飛行時の不具合であるとの説明があった。他に同じエンジンのものが2機あり，視察の際も点検が行われていたが問題は起きていないとのことであった。</p>
--	--	--